

ヒロシマ 反核平和の終焉

～現実的な防衛を求める広島市民のために!～

「日本の平和を守るため憲法9条を改正すべきか？」5月3日、広島市本通り商店街で若者が行ったアンケートで67%がYESと答えた。



平和を守るために
9条全面改正は不可欠!

講師 森本 敏氏

前防衛大臣、安全保障スペシャリスト

無責任な「空想平和論」はもう結構!
広島市民が本当に聞きたい
リアル安全保障の話!!



ヒゲの隊長
現防衛大臣政務官

講師 佐藤正久氏

防衛大臣政務官、参議院議員 (平成25年5月1日現在)

2013 8.6 [火]
(平成25年)

18:00～20:20 (開場17:00)

リーガロイヤルホテル広島
4F ロイヤルホール (広島市中区基町6-78)

チケット 前売 1,800円 当日 2,300円
学生 1,000円 (事務局へお申込み下さい)

【チケット販売所】

- エディオン広島本店
本館8Fプレイガイド
 - チケットぴあ Pコード 624-025
店舗/アルパーク天満屋、廣文館 金座街本店
福屋広島駅前店ほか
 - 全国のサークルKサンクス
 - 全国のセブンイレブン
※発券手数料105円が必要です
- メール・FAXでも受付中 (7月25日まで)
氏名、枚数、郵送先、電話番号を送信ください。
メール 86@jpo-pride.com
FAX 082-831-6206

■ボランティアスタッフ募集

この講演会はみなさんの支援で成功します!
【支援金受付・ポスター掲示協力、メッセージなど】
TEL082-831-6205まで

[予定]
インターネット中継を
日本各地で!!

沖縄・長崎・大阪・東京 他

詳細はHPでご確認ください。



「ヒロシマ反核平和の終焉」とは、戦後一貫して、国や広島が発信してきた核廃絶・平和教育などの「平和論」が北の核恫喝で無効化されたため、現実に即した安全保障議論を望む願いを込めたものです。

主催 日本会議広島・「日本の誇りセミナー」実行委員会 広島市安佐南区川内4-11-18 TEL082-831-6205

協力 平和と安全を求める被爆者たちの会 <http://realpas.com>

協賛 長崎原爆展示を正す会、新聞アイデンティティ、平成・美しい日本を守る会
日本ウイグル協会、MASUKI情報デスク、(株)日本時事評論社、my日本

ホームページでも情報発信中!!

日本会議広島

検索

私たちが協力しています

テーマ「ヒロシマ反核平和の終焉」の意味するもの

あの非道な原爆投下から68年、そして「核拡散防止条約(NPT)」発効から43年が経ちました。しかしこの間、核兵器保有国は増加しています。そして今年2月には北朝鮮が3回目の核実験を実施して、世界のほぼ全域を射程に収める各種核ミサイルを配備しました。さらに、日本の都市名を挙げて「核攻撃対象である」と恫喝するまでになったのです。私たちは、原爆で斃れた人びとに改めて哀悼の心を捧げると同時に、刻一刻と迫る危険を度外視した「ノーモア広島・長崎」の言葉に酔い痴れてきたことに深い悔恨の情を覚えます。私たちが所謂「ヒロシマの平和」を疑い、「核廃絶」という言葉に対して異論を許さない同調圧力に抗いながら5年が経ちました。今や私たちは、疑うことこそ正しかったのだと確信しました。国の安全保障を軽視する一方、それを真剣に思考する者を危険視して内輪の争いに矮小化したのがこれまでの「平和運動」や「平和教育」の正体だったのです。これこそが、決して繰り返してはならない「過ち」ではなかったでしょうか。安全保障を無視した「平和」など空想に過ぎません。

NPTの認める「核兵器国」には核の拡散を防止する義務があります。しかし中国は北朝鮮でもイランでも国連安保理の制裁決議に異を唱え、日本を標的にした北朝鮮の「ムスタンミサイル」の移動式発射台車両の供与まで行っています。さらに、奄美大島以南の諸島の奪

取を公言し、その入り口として、核兵器を含む武力の威嚇で尖閣諸島への主権侵害を日々強化しています。10年程前は、EEZの日中中間線に対峙していましたが、今は誰も言及すらしません。我々はもう忘れたのでしょうか?日本政府による尖閣国有化が現下の対立の原因では決してないのです。北朝鮮の核兵器を影で操りながら、遂に日本の領土主権を奪取する所まで侵攻の手を伸ばしてきたのが冷厳な事実なのです。この状態こそ「NPTの対象である事項に関する異常な事態」であり「日本の至高の利益を危うくしていると認める場合」(NPT第10条)に、まさに該当するでしょう。この条項に規定されている我が国の権利を行使する選択肢を私たちは排除しません。私たちに子や孫に自由で独立した国や社会を継承する義務があるのです。

「ノーモア広島・長崎」を本当に実現したいのなら、広島こそ安全保障を真剣に考え手段を講じる先達を務めるべきであって、日本人の心を縛るだけの「平和教育」に安住して冷厳な現実から若者の目を背けさせてはならないのです。

私たちは極限まで高まった、我が国や社会を脅かす隣国からの危険を食い止めるための具体的な方策提言を、今年もまた断固として実施します。何故なら、私たちは原爆被爆者とその子孫達だからです。

平成25(2013)年5月8日

『平和と安全を求める被爆者たちの会』

今年も早朝慰霊祭を執り行います。

平成25年8月6日(火) 朝5時45分～(15分程度)／原爆慰霊碑前にて

主催 平和と安全を求める被爆者たちの会 参加お問い合わせは TEL (082) 831-6205

趣旨に賛同されるみなさんのサポーター登録をお願いしています。

会の趣旨など詳しくはホームページをご覧ください。

<http://realpas.com>



「もうひとつの平和宣言」を発表しています。

平和と安全を求める被爆者たちの会では、平成22年より、広島市長が行う平和宣言とは別に、私たちの思いを込めた、「もうひとつの平和宣言」を発表し、各方面から高い評価・感想を頂いています。ホームページにてご一読ください。

<http://realpas.com>